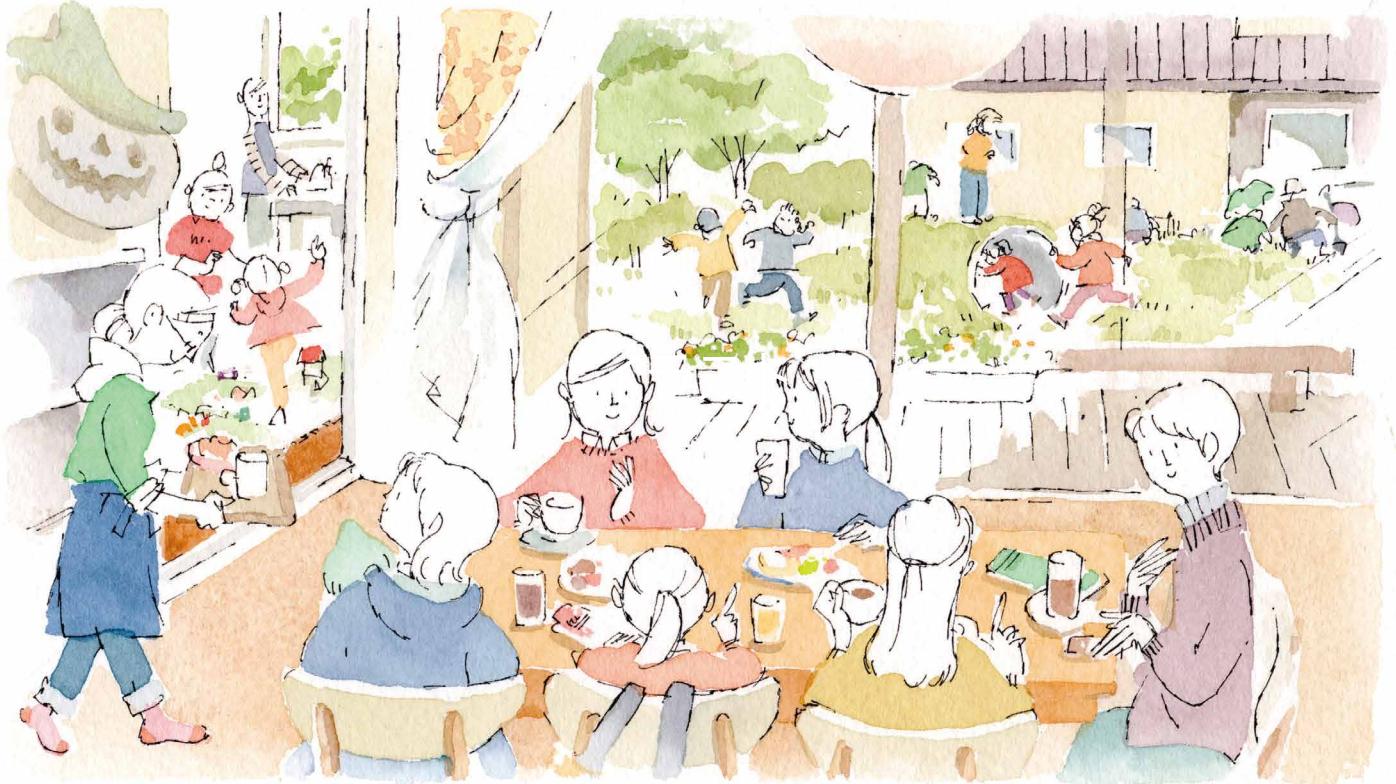




子どもの村東北ニュースレター

# つながるしあわせ

R.Campbell



コーヒー香る村カフェ、プレーパークから聞こえる、みんなの楽しそうな笑い声

第15回

## 村からのメッセージ

### ごあいさつ

子どもの村東北 理事

すずき あきら  
鈴木 顯

(有)細谷ドライクリーニング工場  
代表取締役



いただきました。

学校統合は、子どもたちの学びの環境を守るために大きな決断であり、地域の方々にとって寂しさと期待が入り交じる出来事でもありました。校舎が変わっても、地域の思い出や子どもたちへの願いは決して途切れることなく、次の世代へと確かに受け継がれています。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。家族の形、地域のつながり、学校との関わり方、どれもかつての「当たり前」ではなくなりました。そんな時代だからこそ、「子どもの村東北」が果たしている役割は、ますます重要になっていると感じています。家庭や学校だけでは支えきれない部分を、地域の大人たちが温かく受けとめ、寄り添っていく。そこに“もうひとつの家族”のような安心感があることが、子どもたちの心を支えるのだと思います。

鳴子温泉のまちでは、少子化の流れの中で、長く親しまれてきた小学校が昨年度末に統合され、1つの中学校と3つの小学校が再編されて、新たに「鳴子小中学校」として歩みを始めました。私自身、旧鳴子小学校のPTA会長、そして新たな鳴子小中学校の初代PTA会長として、その節目に立ち会う機会を

私はこれまでPTA活動を通して、「地域が子どもを育て、子どもが地域を元気にすること」何度も実感してきました。地域の祭りや行事で子どもたちが笑顔を見せるとき、その姿に励まされているのは、実は私たち大人のほうです。子どもたちの成長は、地域の希望そのものです。地域の視点から見れば、「子どもを育てることは、地域の未来を育てる」とでもあります。その思いを、理事としての立場から、より広く社会へつなげていきたいと考えています。

学校統合や地域の変化は避けられない現実かもしれません。しかし、地域の温かさや人のつながりは、形を変えても生き続けます。

「子どもの村東北」がその象徴であり続けられるよう、私自身も地域の一人として、そして理事の一人として、子どもたちの笑顔と成長を支えてまいります。

2025年10月2日開催

# 子どもの村東北 フォーラム2025

開催報告



10月2日、せんだいメディアテークにおいて、「子育て応援フォーラム2025」を開催いたしました。

今回の支援者向けのフォーラムは、5年ぶりの仙台市中心部での開催となり、募集開始したところ県内各地からお申込みが続き、直前の週には定員の150名となり、お断り申し上げるなどこのテーマへの関心の高さに改めて身の引き締まる思いでした。

理事長あいさつに続き、本法人スペシャルアドバイザー、せんだいメディアテーク館長のロバート・キャンベル氏からの動画あいさつを頂きました。



第一部は、東北医科薬科大学病院精神科病院准教授の福地成氏による「一人で育てない地域づくり」と題して基調講演を頂きました。

児童虐待の背景にある社会構造を踏まえ、

なぜそれが起きているか考える視点を持つことの重要性を、川の「上流」「下流」に例えて解説、問題解決において、目先の事象（下流）への対応に追われ、根本的な原因（上流）を見過ごされがちであるという課題を指摘し、児童虐待などの社会問題にも当てはめ、対症療法的対応だけでなく、根本原因の解決がいかに重要なかを提起されました。また、健康格差と社会構造を例に「上流」地域のヘルスプロモーションに働きかけることにより地域を健康にし、地域全体で子どもたちを育むこと、その際に主要な2つのアプローチ（ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ）のバランスをとることの重要性についても指摘されました。



家庭環境が不安定な子どもに見られる症状、愛着障害の本当の意味、安全地帯の構築と冒険のメカニズム、安全地帯が機能しない場合の子どもの行動パターンについて解説され、支援者として意識するべき重要な視点、対応方法、チームでの一貫した対応、支援者自身の安定、背景にある環境や社会構造を考慮することなど、自己責任論への警鐘など様々な視点からのアプローチで展開されました。

第二部は、本法人スーパーバイザーの川村玲香氏のコーディネーターに、基調講演の福地氏もアドバイザーとして参加頂き、パネルディスカッションが開催されました。

宮城県中央児童相談所所長伊藤紀子氏から児童相談所の虐待相談動向と地域連携、地域連携モデル（子ども家庭センター・要対協・児童相談所の役割）について、また、社団法人マザー・ウイング代表理事小川ゆみ氏から当事者目線の子育て支援運営について報告されました。

地域における子育て支援とつながりの重要性、さらに、支援者としての役割「つなげる専門家」や現代の地域子育てにおける課題などについて討議され、参加者からの質疑応答にも的確かつ丁寧な対応となりました。

子育て支援に関わる支援者が、子どもをとりまく環境の中で、地域で子どもと養育者を支えることの重要性、そして地域とのつながりの大切さを再認識し、虐待という事象にとらわれずに社会課題や問題の糸口をさぐりたい、今回のフォーラムで得た気づきをこれから業務に活かしていく、地域の場に持ち帰り展開したい、など参加者からは、前向きに実践できる希望が持てたという声が多数を占めました。

今後への要望として、愛着や虐待、不登校、親自身のケアについてなど、子どもが幸せに生きるためにできることをテーマに講座開催を望む声もあり、今後の開催の参考にしてまいりたいと思います。

## 子どもの村東北 夏祭り2025

7月19日、「夏祭り2025」を村庭と家族の家などにおいて、地域に開かれた「子どもの村東北」を目指すという目的で200名の皆様の参加のもと盛大に開催されました。昨年度に引き続き、YOSAKOIチーム「魂響(たまゆら)」の皆様の力強い演舞により開会式に華を添えて頂きました。主な内容については、家族の家のE棟では、村カフェが開催され里親制度や子育て支援の紹介ブース、子育て相談コーナーを設置するとともに、アロマスプレー＆ハンドマッサージなどのワークショップを開催しました。村庭では、毎年子どもたちに人気のスーパー水球や水ヨーヨーなどの縁日コーナー、かき氷、焼きそば、ハンバーグ丼、ジュースなどの飲食コーナー、YOSAKOI魂響、フォークダンスなどのライブエンターテイメント、サッカースクール、ロープワーク、ディ

キャンプ体験などのアクティビティのほか、杜のホールでは、七夕飾り作り、盲導犬ふれあいコーナーなど盛り沢山の内容で盛り上りました。また、今回は在日ウクライナ避難家族支援として、ハンドメイド作品の販売コーナーも設置しました。参加者からは、「毎年楽しみにしている。友達と集まれてうれしかった!」、「温かく寄り添った子どもの村のスタッフの方々に会えて子どもも安心して過ごせた。」、「地域にこのような支援の施設があると知れてよかったです。」、「ボランティアのみなさんがとても生き生きと活動していた。」との嬉しい感想が聞けました。開催に当たっては、地元茂庭台地区の皆様を始め様々な方々によるご協賛、多数のボランティアの皆様のご協力により実施することが出来ました。紙面をお借りして心から感謝申し上げます。



## 子どもの村東北 子育て応援プロジェクト 2025年度子育て講座

### 「子どもの行動の理解と親の自己理解」

～これからでも間に合う子育てって？～

2026年1月24日(木) (土) 13:30~15:30

講師:山崎 剛(やまざき たけし)氏

公認心理師 臨床心理士

元宮城県中央児童相談所長

- 会 場:子どもの村東北 杜のホール
- 対 象:子育てに関わる全ての方
- 定 員:30名
- 参 加 費:無料
- 応募方法:QRコードを読み取り申し込み  
フォームからお申し込みください。
- 締 切:2026年1月15日(木)



### 村をご訪問頂いた皆様のご紹介

#### おそうじ本舗宮城オーナー会の皆さん



10月4日、昨年度に  
続き県内各地から  
総勢20数名のお  
そうじ本舗経営者  
で構成されるオー

ナー会の皆さんに、通算4回目となる清掃ボランティア活動を行って頂きました。今回は、窓ガラスを中心に、村の建物が特殊な構造のため通常は手の届かないホールの天井近くの窓や家族の家の天窓などを手際よく清掃頂きました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### 社会福祉法人東京恵明学園の皆さん



10月28日、東京  
恵明学園乳児部  
職員3名が研修  
のため当法人を  
訪問されました。

村からは、設立の経緯、現在まで約130名の子どもの委託を受ける村在住里親さんへの支援事業、また地域交流事業、子育て支援事業による各種講座・フォーラムの開催などご説明いたしました。両法人が抱える課題等の率直な意見交換などで予定時間を大幅に延長し見学頂きました。

### 仙台市委託事業 未委託里親トレーニング事業

仙台市より受託の「令和7年度仙台市委託事業未委託里親トレーニング事業」が11月1日より始まりました。今年度で5回目の受託となる当事業は、未委託里親対象で、子どもを委託された際に想定される事例に対応するためのトレーニングを行う事業です。第1回研修会は、認定NPO法人リエゾンえひめアドバイザーで元厚生労働大臣の塩崎恭久氏と、同法人理事の塩崎千枝子氏を講師にお迎えし、「家庭養育の徹底こそ、子ども達の自立を実現」、「子どもの発達と社会的養護の子供たちを取り巻く現在の社会」についてご講話を賜りました。また、仙台市子育て安心担当課長の長岡敬子様がトレーニングの構えや、数か月間受講される皆様に激励のお言葉を下さいました。受講された皆様からは、塩崎ご夫妻の里親体験談の事例をお聞きして、実際に子どもを迎える際のイメージが具体的に持てたとの感想を頂きました。

## いろいろな支援のかたち

### 継続して寄付(支援会員寄付の申込)

#### クレジットカード

頻度と金額が選べます。  
ホームページから  
お申込みください。



#### 口座自動引き落とし

年1回or毎月が選べます。法人事務局  
(022-281-8837)にご連絡ください。  
必要書類を郵送します。

### マンスリー寄付

毎月1,000円から、頻度と金額を選んで継続的にご支援いただけます。クレジットカード、口座引き落としのどちらか選べます。



子どもの村東北は認定NPO法人です。当法人への  
ご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受け  
られます。



### 1回だけの寄付

#### 銀行振込 | こちらの口座にお振込みください。

##### ゆうちょ銀行

- 店名 / 二二九店
- 口座記号番号 / 02290-3-127151
- 口座名義 / 特定非営利活動法人  
子どもの村東北

他金融機関から

ゆうちょ銀行への振込みの場合

- 店名 / 二二九店
- 口座種類 / 当座預金
- 口座番号 / 0127151
- 口座名義 / 特定非営利活動法人  
子どもの村東北

##### 七十七銀行

- 店名 / 新伝馬町支店 (203)
- 口座種類 / 普通預金
- 口座番号 / 5835208
- 口座名義 / 特定非営利活動法人  
子どもの村東北理事長 須佐尚康  
(すさ たかやす)

##### 三井住友銀行

- 店名 / 仙台支店 (311)
- 口座種類 / 普通預金
- 口座番号 / 1838931
- 口座名義 / 特定非営利活動法人  
子どもの村東北

### 寄付以外の支援

「遺贈」「古品回収」「募金箱・自販機の設置」など、  
寄付以外にも支援のかたちがあります。

# 支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



新井 清浩 様  
宮城県遊技業協同組合  
理事長

宮城県遊技業協同組合では、県内に所在する加盟店の協力を得て、社会福祉活動に貢献されている団体等への支援活動を行っております。

「子どもの村東北」とのお付き合いは、東日本大震災後、震災で保護者や家族を失った子ども達はもちろんのこと、家庭環境や経済的理由など様々な事情により苦労を強いられている子ども達を励ますとともに、その子ども達の健やかな成長のために尽力されておられる関係者の皆様を少しでもお支えしたいといった思いでスタートし、これまで、毎年、支援させていただいております。

将来を担う子ども達が、元気で健やかに成長し、素晴らしい未来を築いて行かれることを心から願い、今後も、微力ではありますが、支援を続けられますよう努めて参ります。

## 子育て中のすべての人への 絵本

### 「こんなときどうする?」シリーズ vol.1~5

子育て中に感じる悩みや葛藤、「こんな風に」とちょっと違う視点で思うことができるヒントを散りばめている心理士の書いた心に寄り添う絵本。

- vol.1 …「赤ちゃんって?みんな同じ?」
- vol.2 …「イヤイヤ期って みんなそうなの?」
- vol.3 …「学校に行きたくないってなんで急に?」
- vol.4 …「里親になるって?みんなそうなの?」
- vol.5 …「子育てって?親育ちって?」

作:川村玲香 絵:伊藤晶子 / 製作:日米親子支援ネット 各1冊500円(5巻セット2,300円) ※税込み、送料込み



“気付きたい この子を大切にしたいわたしも自分を大切にしたいってこと…” (vol.1より)

“でもその場のその時の気持ち どこに向けたらいいの?” (vol.2より)

お申し込みは、QRコードから、または子どもの村東北まで

## ご支援いただいた企業・団体のみなさま

2025年6月1日～2025年10月31日 \*敬称略・順不同

### 支援会員寄付

株式会社仙台銘板、宮城県遊技業協同組合、国際ソロプロチミスト仙台アイリス、一般社団法人仙台キワニスクラブ 東北大大学小児科同窓会、宮城県小児科医会、仙台市小児科医会、医療法人ありま小児科医院、株式会社ホームユニバース、清水寺、宍戸美香コーチングオフィス、黒川こころの応援団

### 一般寄付

夏にうたう合唱祭、新山崎電機工業株式会社、株式会社ワイエイサービス、東北新生産業株式会社、宮内歯科医院、クリニック飯塚、いのうえ小児科クリニック、鳴子温泉観光協会、アルハンブラギターアンサンブル、株式会社 Ksplace 茂庭公園ミニ里山愛護会

支援会員 個人会員 934名 / 団体会員 94企業・団体 \*2025年10月31日現在

### 助成いただいた団体さま

公益財団法人葉田財団 2025年度 子どもの未来助成事業

### チャリティー募金に

ご協力いただいた団体さま

会津財団株式会社 晩翠画廊「あなただけの花」展

物品ご寄贈・自動販売機・募金箱の設置など、あたたかいご支援ご協力に感謝申し上げます。

### 認定特定非営利活動法人

# 子どもの村 東北



資料請求・お問い合わせ / TEL: 022-281-8837

WEBサイトは [子どもの村東北](https://cvtohoku.org/) で検索ください。

### 【法人事務局】

TEL : 022-281-8837 / E-mail : info@cvtohoku.org

### 【子どもの村】

TEL : 022-281-9653 / E-mail : center-t@cvtohoku.org

住所 : 〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1

FAX : 022-281-9659

\*法人事務局と子どもの村の住所・FAXは共通となります

URL : <https://cvtohoku.org/>



子どもの村東北

※当法人は認定NPO法人です。当法人へのご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。